



平成30年2月定例会付議予定議案



招 集 日

平成**30**年**2**月**20**日(火)

議 案

51件

〔 予算(21)、条例(18)、事件議決(8)、
基本的な計画の策定等(4) 〕

【主な内容】

- 平成30年度一般会計予算
- 平成29年度一般会計補正予算（国の補正予算に伴う補正）



平成30年度当初予算案



～ 未来への投資予算 ～

スマート社会へのシフト

チャンスあふれる埼玉

魅力発信 埼玉

一般会計	1兆 8,657 億 6,000 万円	前年度比 +0.1 %
------	----------------------------	-----------------------

(全会計合計	3兆 3,926 億 2,570 万 3 千円)	前年度比 +23.9 %
--------	---------------------------------	------------------------

同時提案

13か月予算による切れ目ない公共事業の実施（平成29年度2月補正）

一般会計	73 億 3,979 万円
------	----------------------



AI・ロボット等の活用による生産性向上

新規 AI・ロボット等を活用した県内企業支援

1億2,055万円

新規 埼玉スマート農業の推進

1,328万円

◆ AI活用による産業高度化支援

- AIを活用した工場内故障診断システムの開発
- AIを活用した医療機器等の開発、実証 等

◆ ドローンを活用した新たなビジネス支援

- ビジネス創出やサービス向上を図る企業への助成
- 実証試験の場の提供



県経済の活性化

県内企業の「稼ぐ力」の向上

ナシの摘果判断アプリの開発

▶ AIの活用

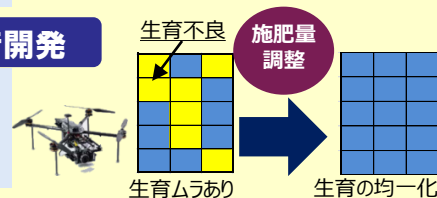
摘果対象を表示するメガネを開発し、経験の少ない人でも熟練者と同様に摘果できる仕組みを実現



米麦の作業省力化と安定生産技術開発

▶ ドローンの活用

ドローンからの撮影で、ほ場内の生育状況をマップ化し、最適な栽培管理を実現



病害虫発生予察ツールの開発

▶ ビッグデータの活用

過去の調査データ等を解析し、精度の高い予察情報を県内生産者へ提供

予察情報のイメージ

カメシ発生予察（水稻）

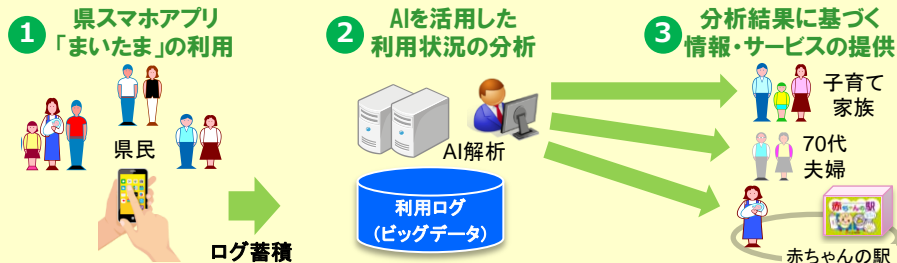
発生ピーク予測	8月1日
防除適期予測	8月10日
推定発生量	平年の2倍

勘や経験に頼る農業から誰もが安定生産できる農業へ

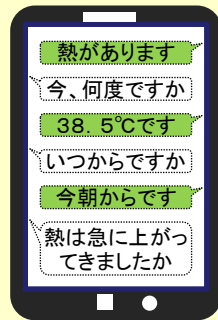


行政のスマート化の推進

新規 ビッグデータを活用した プッシュ型サービスの提供 3,316万円



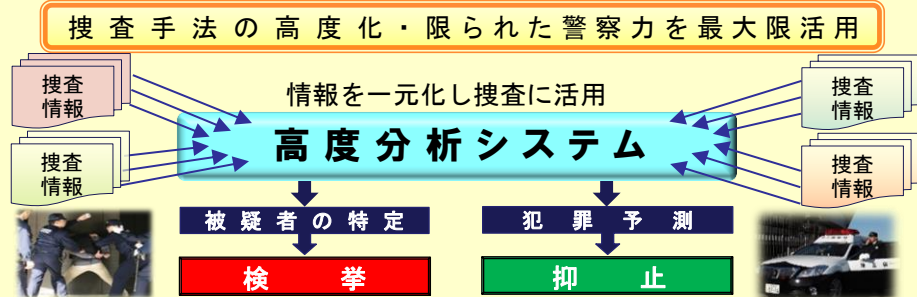
新規 AIを活用した救急相談の拡充 5,000万円



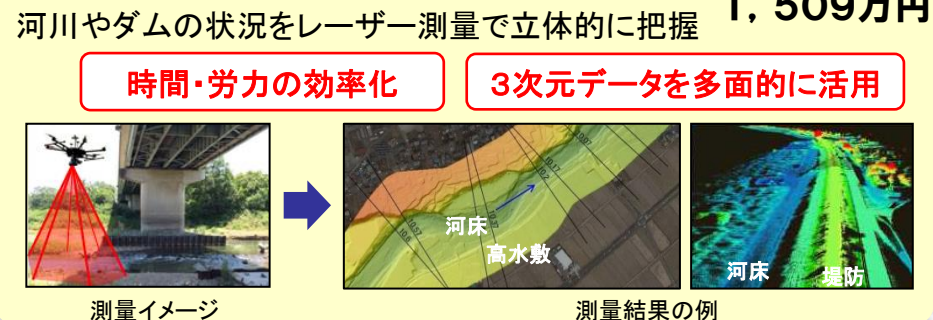
- チャット形式での救急相談機能を整備
- AIが疾患を幅広くチェック
- 医療機関を受診すべきかアドバイス

第1期(チャットボットの運用)			第2期(音声応答の運用)		
30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
開発・テスト	チャットボット 仮運用→本運用		音声応答機能 仮運用→本運用		
			音声応答機能 開発・テスト	(電話とチャットボットの統合)	

新規 高度分析システムの整備 4億4,719万円



新規 ドローン等による河川・ダム等の3次元測量 1,509万円





結婚・出産・子育ての切れ目ない支援の充実①



結婚の支援

子どもを望む人への支援

新規 SAITAMA出会いサポートセンター事業 3,300万円

・市町村や企業等との連携のもと、AIを活用した結婚支援を行う
「SAITAMA出会いサポートセンター(仮称)」を開設

拡充 ウェルカムベビープロジェクト 14億1,277万円

・子供を望む夫婦の不妊症検査・治療に加え不妊症検査の助成を開始
・高校生や大学生への普及啓発の拡充

○ 結婚支援システムの導入

入会申込み
会員登録

理想の
お相手探し

お引き合わせ

交際 → 結婚



○ 支援内容

- 結婚支援システムによるマッチング支援
 - ・希望の条件に合う相手を検索、AIがおすすめのお相手を提案
 - ・ニーズ、条件に合ったイベント情報を個々に配信
- 出会いから交際後のフォローまでを継続的に支援
- 各種セミナーや婚活イベントなどの実施

○ 不妊症検査費助成

・妻年齢43歳未満の夫婦を対象に不妊症検査費を助成(上限2万円)

○ 出前講座の拡充 30回

○ 埼玉県こうのとり大使のダイヤモンド☆ユカイ氏による普及啓発



にんようせい

新規 小児・AYA世代の妊孕性温存支援 2,141万円

・妊孕性温存治療に係る費用を助成
・がん治療を行う医師等への妊孕性に関する専門研修

○ 妊孕性温存治療費助成

・がん治療前に卵子・精子凍結保存等の治療費を助成(上限25万円、所得制限あり)

※妊孕性温存とは、若年がん患者等に対し、がんの治療により将来妊娠の可能性が消失しないよう生殖能力を温存すること





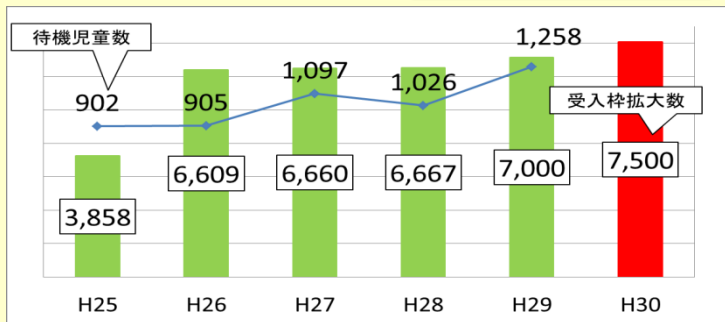
結婚・出産・子育ての切れ目ない支援の充実②

待機児童対策の推進

拡充 受入枠の拡大 **29億7,228万円**

- ・認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所などの整備

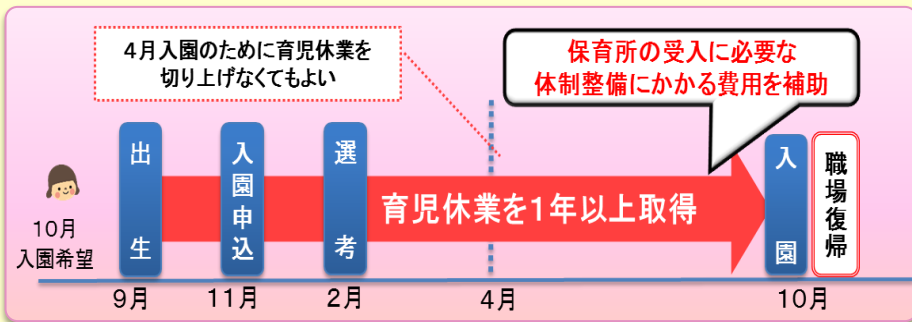
②97,000人分拡大 → ③07,500人分拡大



保育サービスの充実

新規 希望時期入園制度の導入 **3,689万円**

- ・育児休業を切り上げることなく、保護者が希望する時期に保育所等に入園できる制度の導入を支援



保育士確保支援

新規 保育士確保推進事業 **5,675万円**

- ・保育士登録者名簿を活用 ⇒ **多様な保育人材を開拓**
- ・SNSを活用した就職情報の発信 ⇒ **保育士と保育所のマッチング促進**
- ・人材確保等に関する相談支援の実施 ⇒ **保育現場の働き方改革推進**

私立高校における教育費負担軽減

私立高校父母負担軽減事業 **122億14万円**

拡充 多子世帯に対する授業料補助の拡大

- ・県内私立高校生と大学生等を3人以上抱える世帯（多子世帯）のうち、**年収約609万円以上720万円未満の世帯を補助対象に追加**

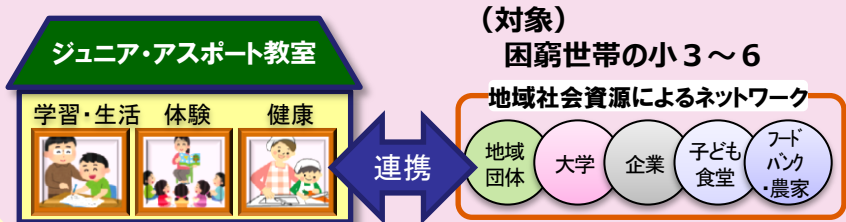


子供の貧困の解決 ～貧困の連鎖解消～

拡充 小学生から高校生までの切れ目ない学習支援
1億701万円

1 ジュニア・アспорт事業 【6市町でモデル的に実施】

- ◆ 小学生向け『ジュニア・アспорт教室』の運営
・ 学習・生活支援、体験活動、健康支援を実施
- ◆ 地域で困窮世帯の子供を支える体制を構築



2 アспорт学習支援事業の充実

- ◆ 高校生教室の増設（町村部）
- ◆ 高校中退者や高校未進学者に対して、再就学・進学・就職などを支援

新規 子どもの応援ネットワークづくり 630万円

- ◆ 子ども食堂の運営のノウハウや先進事例の紹介などを実施
- ◆ 子供の居場所づくりに取り組みたい方と応援したい方によるネットワークづくりを支援



新規 県営住宅を活用した子供の居場所づくり
2,400万円

【モデル団地 2団地】

- ◆ 団地自治会やNPO等が団地や地域の子供の生活を支援
・ 遊び場提供、食事提供、学習支援などを実施



シングルマザー支援の推進 ～貧困の連鎖解消～

◆ シングルマザーの様々な悩みへの一体的支援

2億6,832万円



相談相手がなく、様々な悩みを持つ
シングルマザーをまるごと支援

拡充 生活を支える手当等の給付や資金の貸付
(高等職業訓練給付金の枠の拡大)

- ひとり親家庭専門支援スタッフによる
きめ細かい個別相談
- 女性弁護士による養育費などの法律相談
- 県営住宅への優先入居



心の支え

孤立や不安の解消

新規 生活や将来不安などの悩みを持つ女性同士の
交流会、グループ相談会

新規 自立に必要な知識等を学ぶセミナーや
自分に合った生き方を見つける連続講座

- 子育て先輩ママの訪問相談・支援



チームによる
一体的支援

くらし

生活・子育ての応援

しごと

安定就労の支援

新規 看護師など専門資格の取得支援や
就職相談会

新規 スピーディな就職のコーディネート

- シングルマザーが優先受講できる
託児サービス付きの職業訓練



安心して自立した生活へ



シニアの活躍応援

～ いくつになっても本人の意欲や希望に応じて働ける社会を目指す ～ 3億9,921万円

I サラリーマンへの集中的アプローチ 新規

1 元サラリーマンへのアプローチ ～ 5万人アプローチ ～

- 市町村と連携し「生涯現役カード」を配付
- 仕事や地域活動などの相談窓口につなげる

2 現役サラリーマンへのアプローチ

- 現役世代を「シニアライフ案内士」に養成
→ シニア期に向けた準備を啓発

案内士2,000人



職場の同僚に働き掛け

II 企業における「働く場」の拡大 拡充

- シニア活躍推進宣言企業の認定 (1,500社に拡大)
- 70歳雇用推進助成金の交付 (最大 200万円)



III シニアへの就業支援 拡充

- セカンドキャリアセンターによる就業支援 (利用者 12,000人)

拡充 シルバー・ワークステーションの運営 (新規就業 2,500人)

- シルバー人材センターでの事務系や人材不足分野の仕事を開拓
- 新 企業ニーズに合わせた人材養成や企業でのトライアル雇用を実施



ラグビーW杯とオリンピック・パラリンピックへの対応

◆ ラグビーワールドカップ2019

会場及び周辺の整備

53億6,139万円

- 熊谷ラグビー場の整備（グラウンド工事等）
- 熊谷スポーツ文化公園の整備（バナー対応型照明灯の整備等）
- 周辺道路の整備

気運醸成など

- 気運醸成（カウントダウンイベント、新熊谷ラグビー場こけら落とし等）
- おもてなし（ボランティアの募集・選考等）
- 開催都市プロモーション（メディア告知、SNS(英語版)による情報発信等）



◆ 東京2020オリンピック・パラリンピック

施設環境の向上

27億4,221万円

- さいたまスーパーアリーナの整備（案内表示のデジタル化等）
- 埼玉スタジアム2002の整備（Wi-Fiの整備、観客席更新等）

気運醸成など

- 気運醸成（2年前イベントの開催、子供向け競技体験キャラバンの実施等）
- おもてなし（都市ボランティアの募集・選考等）
- キャンプ誘致・宿泊対策（ホームステイ運営体制の整備等）
- 文化プログラム（埼玉WABI SABI大祭典2018等）

さいたまスーパーアリーナ
（バスケットボール）



【H30施設環境の向上】

- ・案内表示のデジタル化
- ・けやきひろば照明LED化等

埼玉スタジアム2002
（サッカー）



【H30施設環境の向上】

- ・Wi-Fiの整備
- ・観客席更新等



埼玉の魅力アップ

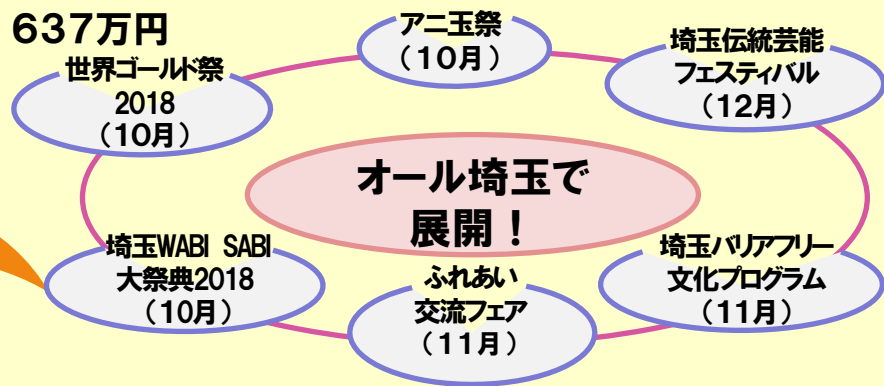
【拡充】 埼玉文化フェスタ2018(仮称)の開催 1億5,637万円

10月～12月に 全県で展開！！

◆ 埼玉WABI SABI大祭典2018

埼玉の「和」の文化を一堂に集めた
屋外型イベント

開催時期：10月中旬の土、日
場所：大宮公園ほか



【一部新規】 県内市町村と都区部との交流 540万円

■ 林間学校やスポーツ合宿などの若い世代の交流を支援

■ 産業祭への地場産品の出品などの経済交流を支援



【一部新規】 外国人観光客100万人誘致への取組強化 6,665万円

■ 重点市場の台湾、香港、タイでプロモーション

- 現地旅行会社やメディアとタイアップした県内旅行商品のPR
- 台湾に加え、タイに観光コンシェルジュを配置

■ ラグビーワールドカップ2019に向けた周遊観光のPR



タイの旅行博



川の再生の拡大

◆川の国埼玉 はつらつプロジェクトの推進

17億800万円

代表事例(荒川/寄居町)

荒川の自然を生かす
取組で町を活性化

市町村
地域振興
維持管理

連携
協働

住民等
利活用
維持管理

県

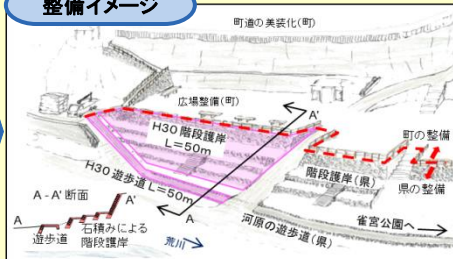
水辺空間の整備



玉淀河原(現況)



整備イメージ



周辺の風景と調和した階段護岸や遊歩道を整備

一部新規 合併処理浄化槽への転換促進

5億2,560万円

【単独槽から合併槽への転換費用の負担軽減】

◆ 転換補助

⇒ 県全体約1,400基 (本体及び設置・配管工事費等)

【転換促進に向けた新たな視点】

実施箇所：越谷市出羽地区(出羽堀)
合併槽の割合が3割弱に留まる(県平均57%)

新 県市・浄化槽業界の協働による戸別訪問

⇒ 工事内容や費用を具体的かつ即時に提示、併せて補助制度を説明

新 水質改善効果の見える化

⇒ 地域住民と行う生き物調査

※転換補助は他地域と同内容



転換による水質改善効果

➤ 棲んでいる生き物を通して可視化





新たな産業の育成と企業誘致の推進

◆農大跡地への成長産業の集積等

99億7,096万円

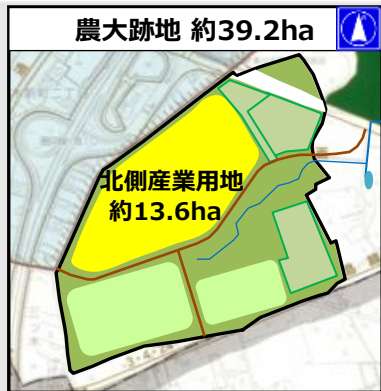
新規 新たな産業団地の整備

105億2,421万円

農大跡地

北側産業用地への成長産業誘致

- 各種法手続
(環境アセス、都市計画変更等)
- 造成工事(北側産業用地等)
- 進出事業者の選定(公募)



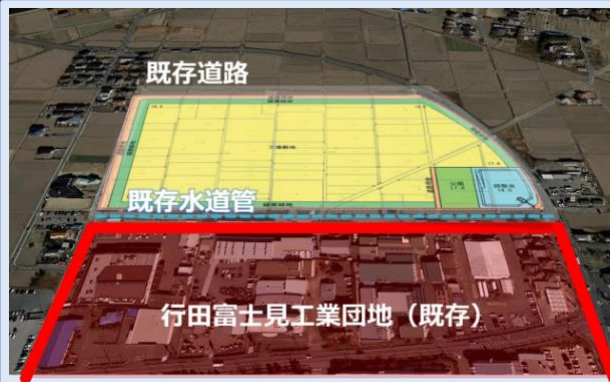
県経済を牽引

周辺地域

- 地域未来投資促進法や国家戦略特別区域法の活用・検討
- L PWA通信を活かしたIoT化の促進
- 産業系利用に向けた測量、設計、調査(AI技術など)、用地取得

近未来技術の活用促進

既存工業団地拡張によるスピード整備



- 既存道路等のインフラを活用しスピード整備とコスト縮減
- コンパクトな開発面積で造成期間を短縮(2.5→1.5年)

行田富士見地区
6.9ha

嵐山花見台地区
9.3ha

『エントリー&オーダーメイド』団地をスタンダードに

- 企業ニーズを整備計画に反映
- 2年早い分譲で立地促進

松伏・田島地区
18.3ha

川越増形地区
16.8ha



13か月予算による切れ目ない公共事業の実施

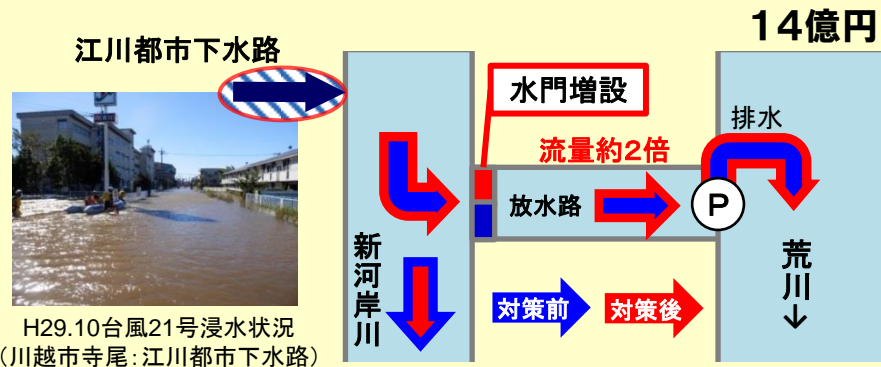
◆ 国補正予算を活用した13か月予算

● **13か月予算**で... 総額972億5,750万円

公共事業を**切れ目なく**実施！ 対前年度**2ケタ**増！
(単位：億円)

区分	29年度		30年度 (13か月予算)		増減	
	当初	補正	当初	計	金額	率
道路	520	21	536	556	37	7.0%
河川	271	46	276	322	52	19.1%
その他	83	6	88	94	11	12.7%
合計	874	73	899	973	99	11.3%

新規 放水路の有効活用による浸水対策



新規 道路の路面下空洞調査 4,910万円

道路陥没の原因となる空洞

陥没発生状況

異常信号の検出

詳細調査

断面撮影

地中レーダー探査により、危険な空洞を発見

新規 流木災害予防対策 6,500万円

福岡県朝倉市の被害状況
土砂と流木により、被害が発生

対策が必要な森林
県内でも流木災害が発生するおそれ

流木捕捉工の整備
流木災害の予防・軽減